

## Ⅲ 市民活動連携・支援

### 1 市民活動連携推進事業

市民団体の創造力・企画力を活かし、霞ヶ浦にかかる水質保全計画をより一層きめ細やかに推進するため、市民団体間の連携や活動領域の広がりなどの相乗効果が得られる市民団体の取組（H18採択2事業）を支援した。

#### (1) 募集した事業分野

①	河川等の流域単位で複数の団体が一体となって行う水質浄化への取り組み
②	各地域で行う面源負荷削減につながる水質浄化への取り組み

#### (2) 応募資格

霞ヶ浦の水環境の保全に取り組む県内の公益法人，特定非営利活動法人，任意団体

#### (3) 補助金等

- ・実施した事業数 18年度採択2事業
- ・補助金交付期間 1ヶ年
- ・補助金交付限度額 1事業あたり年間上限30万円

<平成18年度補助金交付対象事業>

	分野	団体名	事業内容
18年度採択	①	環境グループ石岡	山王川流域の水質保全と生物多様性保全事業 (事業の概要) NPO法人アサザ基金と連携。山王川流域の休耕田を利用した水田型ビオトープにより、山王川から流出する面源負荷を減少させるとともに、生物多様性の保全を行う。
	②	土浦の自然を守る会	霞ヶ浦流域水田における、地域主体の通年湛水・不耕起栽培の実践と普及事業 (事業の概要) 霞ヶ浦流域の台地部からの高窒素湧水を、通年湛水した水田に導入し、脱窒反応による窒素負荷の軽減を図る。

### 2 市民参画推進事業

#### (1) 市民活動連携推進報告会・市民団体との懇談会の開催

幅広い県民が参加し、市民，研究者，企業及び行政のパートナーシップがさまざまな形で展開されるよう、センターが実施する事業内容や実施方法，情報の発信内容などについて、市民団体等との意見交換の場を設けた。

19年度実績

開催日	場所	参加団体数
平成20年3月16日	センター多目的ホール	49人

(2) パートナー（ボランティア）の協力によるセンター運営等

センターを訪れる方が楽しく学んで、活動できるよう、広く県民から募集した「パートナー（ボランティア）」の協力を得ながら、県民とともに利用しやすく、親しみやすい運営を図った。

19年度実績

活動グループ	展示解説, 自然観察, 飼育・管理, 記録, 広報, 図書, 植栽		
登録人数	約 89 名	活動日数	延べ 1, 7 0 6 日

(3) 交流サロン運営事業

水質浄化活動や環境保全活動の輪を広げるためのオープンスペースで、簡単な打合せや資料作成、パソコンによる市民活動や環境についての情報検索、掲示板やパンフレットによる情報交換などに利用できるよう「交流サロン」を運営した。

なお、運営主体は、より良い交流が図れるよう市民団体（平成 18 年度～（社）霞ヶ浦市民協会）に委託している。

また、市民活動に必要なアドバイザー、助成制度、行政施策等の情報提供等を行った。

さらに、交流サロンでは、センターが主催する自然観察会やその他の事業に積極的に参加を希望する県民を「サポーター」として登録し、登録者にはセンターの最新情報の提供としてサポーター通信の発行やイベント情報の提供、さらに図書の貸出しを行った。

このほか、生活排水対策として洗剤をあまり使わないアクリルタワシの作成教室などを定期的  
に開催した。



アクリルタワシ教室

交流サロンの主な機能

設備等	内容
① 案内カウンター	サロンを利用する方の総合案内。環境に関する市民活動の相談（活動に必要な人材、行政施策などの紹介）窓口。
② ミーティングコーナー	簡単な打合せや情報交換、交流の場として利用可能。
③ 印刷コーナー	印刷機・丁合機・紙折機を無料で利用可能（用紙は持参）。
④ メールボックス	団体間の情報交換として私書箱のような役割。
⑤ 市民団体 P R コーナー	各団体のイベントや活動紹介のためのパンフレット等の棚置き利用可能。
⑥ 掲示板コーナー	イベント情報、会員募集など提供したい情報が掲示可能。
⑦ 情報・パソコンコーナー	インターネットで情報収集が可能。
⑧ 会議室	20 人程度の会議、打合せ、研修などに利用可能（要予約）。